

### きくち幸江議員の本会議質問

## 子どもの成長を保障する保育制度を



政府が来年4月からの実施を強行した「子ども子育て支援新制度」は、保育の大きな課題である待機児解消について、保育園の増設ではなく、自治体の責任を後退させて民間任せにするなど、問題の多い制度です。

きくち議員は、江東区がつくる新しい制度の保育基準について、施設面

は引き下げることなく改善すること。高すぎる保育料は引き下げる。保育に混乱をきたす無理解期・延期・改善を求めること、などを求めました。

区は「現在の水準を維持、継続すべき」との答弁ですが、「国の政省令を元に検討する」ともしており保育環境を守る取り組みが求められます。

高年齢者の見守り支援拡充を

きくち議員は、高齢化の進行で認知症高齢者も増加する中、区の見守り施策の後退は問題と指摘。緊急通報システムの対象の拡大、災害協力隊の避難行動要支援者名簿の見守り活動に活用できるようにすること、見守り専門の相談室の各地域への設置、医療、介護、



家賃などへの経済的支援の実施を求めました。

水辺と緑の公園整備の充実を

公園整備については、区議団が行った区民アンケートに基づき、人口増に見合った公園の計画的な整備、小名木川遊歩道にトイレや大島側の入り口の設置、堅川公園の維持管理の拡充などを求めました。



### 斉藤信行議員の本会議質問

## 際限のない民間委託で自治体の役割を放棄



区役所の窓口業務まで民間に委託するのか

斉藤信行議員は、「行革」民間委託について質問。区は、これまで保育園や学校給食、福祉会館、児童館など際限のない民間委託を進めてきた。更に区庁舎2階の戸籍、住民票、国保など窓口業務まで民間に委託しようとしている。

足立区では、窓口業務を今年1月から民間会社に委託した結果、違法な偽装請負などで法務局が立ち入り調査し、改善指示が出される事態がおきている。また戸籍や住民票など区民のプライバシー漏えいの危険性がある。区民から「直営に戻せ」との声が上がっている。江東区も窓口業務を委託しようと調査をして

「ブラック企業化」「残業ゼロ」に反対を

斉藤議員は、労働法改正について、「残業ゼロ」で長時間働かせ、過労死しても「自己責任」となる法改悪は、いっそうのブラック企業化が横



いるが、窓口業務は民間に委託するなど求めました。区は「委託のあり方を検討している」と答弁。

教育の政治的中性が保てるのか

教育問題では、教育委員会改変による首長の教育への関与と権限強化によって教育の政治的中立性や自主性が失われると見解をたしました。また教科書選定で、右派勢力「靖国派」の圧力

行する。また労働者派遣法の改悪で「生涯派遣」で働かせることになる。区長は、全国市長会や区長会に呼びかけ反対すべきと迫りました。区は、「国の労働政策審議会の審議を見守る」と答弁。

また全国学力テストは、「学校の序列化や過度な競争」になる。テストの中止と結果の公表は

で育鵬社版の教科書を使わないよう求めました。区教委は、「学校名を明らかにした公表はしない」と答弁。

### 共産党提出意見書が採択

## 「給付制奨学金制度に関する意見書」 「シルバーパスの料金設定に関する要望」

6月30日の本会議で、「給付制奨学金制度に関する意見書（共産提案）」が可決されました。意見書は、「国会と政府に対し、国際人権規約を守り、教育の無償化に向けて早急に給付制奨学金制度の実施を求める」ものです。

また、区民からの陳情では、「過労死防止基本法の制定を求める意見書の提出を求める陳情」が可決。「手話言語法制定を求める意見書の提出に関する陳情」は、本会議の傍聴に駆けつけた多くの聴覚障がい者が見守る中で可決され、国へ意見書が送付されました。

さらに、「シルバーパスの料金設定に関する要望」（共産提案）を28区議長会へ要望事項として提案することが決定。要望書は、「所得125万円を超えると一律2万5100円の負担となるため、『3千円・5千円券を』短期間で安価なものを」等の要望が多いとして、住民税課税者の費用負担額の多段階化や短期パスの発行を求めています。

